

【ATC道標①】

こんにちは、アークテックコム(株)にて技術書類の作成と翻訳を行っています豊原 信です。

Tel : 050-6864-6201
Fax : 050-6864-6202
E-mail :
m.toyohara@arcteccom.jp

願望と努力と思いやり

明けましておめでとうございます。2026年度から、今までの「ATC フィロソフィー」から「ATC 道標」に改名します。

その背景は、フィロソフィー(考え方)が独立自尊でものとの本質や真理を掴む力を身に付けるための手引きに変遷してきたためです。

では、道標の紹介を致します。

思いを繰返し描くことで強い願望にする

高い目標を達成するには、まず「こうした」という思いを何度も繰り返して、言葉と文字で絵を描くように具体的に表現することです。そうすると非常に強い願望になって潜在意識に浸透します。

新製品やサービスを開発する、お客様から注文をいただく、生産の歩留まりや直行率を向上させるなど、どんな課題であっても、まず「何とし

てもやり遂げよう」という思いを心に抱き、言葉と文字に置き換えるのです。

私心を抑え純粋な気持ちで、繰り返し情景を思い描くことで、潜在意識にまで浸透していくのです。

このような状態になったときに、日頃頭で考えている自分とは別に、寝ているときでも潜在意識が働いて強烈な力を発揮し、その願望を実現する方向へと向かわせてくれると言われています。

ここで強調されることは、「強く持続した願望を持ち、情景を何度も思い描く」ということで、言い換えれば、それは「私は人生をこう生きたい」「私は会社をこうしたい」ということを、純粋な心で強く、継続して思いを言葉と文字で絵を描くように表現することです。更にスケッチブックにイラストを描いてみる。そうすることによって、潜在意識にまで美しい思いやりのある願望を透徹させることができる

のです。

では、「潜在意識」というのは、自転車に乗る時や自動車の運転をする時、無意識のうちにバランスを取り、ハンドル操作やブレーキやアクセル操作を行うと思います。最初の内は、顕在意識で操作しますが、慣れてくると無意識に操作できるようになります。しかも、とっさの危険回避の操作も無意識に出来るようになります。

このような潜在意識を上手く活用することで、効率よく素晴らしい仕事を行うことや人生を送ることができます。

潜在意識が閃きを呼び込む

このような潜在意識を日常的に使えるようにするには、強く持続して意識し、覚え込ませるようにならなければなりません。つまり、繰り返し行って潜在意識に浸透させていくのです。

ビジネスでも、この潜在意識を使えば、すばらしい成果を挙げることが可能と言われていま

す。例えば、成功したいとか自分の会社をもっと良くしたいと、毎日いろいろなことを考える。その思いが潜在意識に入っていると、思いもかけない瞬間に、パッとひらめくことがあるのです。

発明王エジソンも、天才とは、1パーセントのひらめきと、99パーセントの汗である、という主旨のことを言いました。そして彼は、潜在意識を活用する方法を自分で色々考え、昼寝をしながらアイデアを得るために特定の方法を使っていたと言われています。彼は、手に重い物を持ちながら椅子に座り、うたた寝をしていました。眠りに落ちると手から物が落ち、その音で目が覚めるという方法です。この瞬間に、潜在意識からのひらめきを得ることができたと言われています。

つまり潜在意識は、私たちが意識的に考えていないときでも情報を処理し、関連付けを行っています。例えば、問題を解決しようと一生懸命考えているときには解決策が見つからなくて、リラックスしているときや寝ている間に突然ひらめくことがあります。これは、潜在意識がバックグラウンドで働いているからです。つまり、仕事のことや経営のことを四六時中考え

ていると、思いもかけない場面で潜在意識が働いて、すばらしい着想が得られるのです。そのようなひらめきは核心を突いていて、今までに自分が遭遇している問題を一気に解決してくれるものがほとんどです。

もう一例として、あの湯川秀樹博士も、核融合の研究を続けるときに、この方法を取りました。目に付きそうな場所すべてに貼り紙をして、四六時中、有意注意して考えたそうです。

強い願望を実現させる

世界中の成功者の多くが口にすることは、この「心に思つたとおりになる」ということなのです。成功ストーリーを読めば、ほとんどがこのことに帰結していますが、しかし思って信じただけでは成功しません。

例えば仏教の場合、「あなたの周辺に起こることは、全部あなたの心のままなのだ」と説いています。そして、「もし今あなたが不幸な境遇にあり、人生や会社の経営もうまくいかないとすれば、それはすべてあなたの想念、あなたの思いがそうさせているのだ」と戒めるのですが、このことに気付く人はほとんどいません。

つまり、強く持続した思いを実現するには、実現するように

必死に努力をして思いを1つ1つ実証しながら積上げて行かなければなりません。この実証する努力なしには成功しません。

潜在意識を使うか使わないかはその方法のひとつでしかなく、「どうしてもこうありたい」と願って必死に努力をすれば必ず実現するのです。

この真理を、多くの人は信じられないようです。そのために、成功者を見て、「そんなに簡単にできるのなら」とチョロッと真似をしては失敗している。持続した強い願望が必要なのですから、3日程度考えたくらいでは当然うまくいきません。では1年ならどうか。1年でも話にならないかもしれません。1年かけて実現する人もいれば、しない人もいるでしょう。それは時間の問題ではなく、思いの強さと継続する努力の問題だろうと思います。

ですから、「たとえどんなに苦しい状況にあっても、自分の人生や会社の将来を絶対に悲観的にみてはならない」と考え、今はつらくて苦しいけれども、自分の人生はきっとバラ色で、明るく開けていくはずだ、うちの会社はこれから発展するのだ、と信じて必死に努力をすべきなのです。

健康の問題でもそうです。病

気を患つて将来を悲観してばかりいたのでは、治るものも治りません。人間、どうせいつかは死ぬのですから、くよくよ先のことを心配するのではなく、「自分はきっと治る」と言い聞かせ、まずは明るい将来を信じて直す努力をするのです。

中村天風は、この「持続した願望は実現する」ということを次のように端的に表現しています。

「新しき計画の成就是ただ不屈不撓の一心にあり。さらばひたむきにただ想え、気高く、強く、一筋に」

人生や会社のビジョンでは「その成就是ただ不屈不撓の一心にあり」、つまり、どんな困難が立ちはだかっていようと、自分は一心不乱に努力をするのだという心構えが必要なのです。その姿勢が、この「さらばひたむきにただ想え、気高く、強く、一筋に」という言葉に表現されています。

※2026年02月号に続きます。

今月の応援メッセージ

思いやり

最近よく「思いやり」という言葉を耳にしますが、広辞苑で調べても自覚できません。そこ

で、あの中村天風の文章を調べたらありました。紹介します。

【だれにでもある心なのだから、思いやりのやさしい心で一切のものごとに接する習慣を付けなさい。報われたくなくても即座にひとりでに来るよ。これという形や色の見える物質的な報われじやないよ。『思いやりでやつたけど、一銭も貰えねえ』、それじゃあ駄目です。

思いやりという気持ちは、誠と愛の気持ちだから、それで人に接して、物に接するとき、自分自身の心の感じる快さ、嬉しさというものは、もう形容できません。『ああ、有難うございます』と言って喜ばれたときに、『けつ、俺損しちゃった』と思う人ある？人が喜んでいる姿を見て腹が立つ奴は、そら鬼だよ。

キリスト教にもあるように、恵まれたときよりも、恵んだときのほうの喜びが大きいと。救われたときよりも、救ったときのほうが一段と嬉しいと。これはお医者さんがしおちゅう経験していることでしょう。治った者の喜びよりも、治した自分の喜びが何とも言えませんね。

とにかく人の世のため、嫌でも誠と愛というものが出てくる思いやりの状態のままで生きてごらん。ただ道義上の理念だけ

でなく、それが人間の生きる当然の生き方だというふうに。】

とあります。思いやりということは、相手の魂の真善美に触れるということですね。

豊原 信